

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	理工学部
大項目	0 理念・目的
中項目	
小項目	0.0.1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。
要素	理念・目的の明確化 実績や資源からみた理念・目的の適切性 個性化への対応
小項目	0.0.2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員（教職員および学生）に周知され、社会に公表されているか。
要素	構成員に対する周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	0.0.3 大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 理念、教育目的が新中期計画と矛盾していないか2010年度中に点検し、矛盾している場合2013年度中に再設定する。	→再検討結果の報告書。	C	C	B	B	
2. 理念、教育目的を教員及び学生に対して2010年度中に周知する。	→教員、学生への周知	A	A	A	A	
3. 学科単位での教育目的を2011年度中に設定し公表する。	→公表したホームページ	C	C	C	C	
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	教授会での理念・目的の検証に基づいて、2012年5月に、教育・研究の対象分野に関して、「自然科学」に加えて「科学技術」を明示的に追加する改定を、また2013年4月にディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーの文言の不統一の修正を行った。新中期計画に基づいて理工学部で3学科増設することが承認され、2015年4月開設を目指して準備を進めており、計画の内容が固まった時点で、理念・目的に新たな要素を付加する必要があるか検討し、報告書を作成する。
目標2	理工学部の理念・目的は、理工学部のホームページ (http://sci-tech.ksc.kwansei.ac.jp/ja/modules/about/index.php?id=22) に公表している。理念・目的および大学で設定された「KG学士力」に沿って2011年度に策定されたディプロマ・ポリシーの内容については、教員に対しては4月の教授会で、学生には入学時に周知徹底している。
目標3	学科単位での教育目的は、まだ策定されていない学科がある。
備考	